

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業(国補)]	事業箇所	南巨摩郡身延町夜子沢	地区名	(一) 遅沢静川線(夜子沢工区)	事業主体	山梨県
-----	-----------------------	------	------------	-----	------------------	------	-----

  

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 一般県道遅沢静川線は、身延町遅沢から同町切石に至る全長約6.2kmの路線であるが、山間部で交通量の少ない道路であるものの日常生活に不可欠な道路であることから「1.5車線の道路整備」を進めている。  
 当該区間は、道路幅員が3.4m程度と狭小なため、車両のすれ違いが困難な交通の隘路となっていることから、早急に整備を進める必要がある。

**②整備目標・効果**

□主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上  
 ・道路改良率 59.1%(R5道路現況表) <64.0%未満 ※  
 ・混雑時走行速度 10.0km/h (R3時分) <30.0km/h以下 ※  
 ※評価基準値

□副次目標 ○災害に強い道路の確保  
 ・危険度(落石等): 「要対策」箇所 無  
 ・損傷度等(落石等): 通行止め実績(過去3年)7回 >2回以上 ※  
 ・緊急輸送道路の指定: 指定なし  
 ・自動車交通量: 281台/12h (R3センサス)  
 <3,340台/12h(平日) 以上 ※  
 ※評価基準値

□副次効果 ○アクセス機能の維持  
 (集落と集落を結ぶアクセス道であり、1箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路)

**(2) 整備内容**

①整備内容 道路改良 L=390m W=4.0(5.0)m  
 ②着手年度 令和6年度 ③完成見込年度 令和14年度  
 ④総事業費 約950百万円(国費527百万円(5.55/10)県費423百万円(4.45/10))  
 ⑤年度別の整備内容 (事業費)  
 令和6年度 測量・設計 20百万円  
 令和7年度 用地測量 10百万円  
 令和8~9年度 用地補償 200百万円  
 令和10~13年度 道路改良工事 670百万円  
 令和14年度 舗装工事 50百万円  
 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費  
 遅沢静川線(夜子沢I期)  
 道路改良L=230m、W=4.0(5.0)m・H24~R3・3億円

**(3) 事業の妥当性評価** 妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)  〇   
 一般通行の用に供する県道で、極めて公共性が高い。

②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)  〇   
 県道の改築であり、道路法第15条により県が行うべき事業である。

③経済妥当性  〇

総事業費	950百万円	工期	R6 ~ R14	基準年	R6
経済効率性	費用	731百万円	便益	1,016百万円	
	建設費	708百万円	走行時間短縮	599百万円	
	維持管理費	23百万円	走行経費減少	344百万円	
			交通事故減少	40百万円	
			その他※	33百万円	
B/C			1.3		

※その他は、通行規制解消便益、救急救命率向上便益、観光客増加便益  
 費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。

④事業実施・規模の妥当性  〇   
 当該区間の起点側には事業完了箇所があり、事業規模は妥当である。

⑤整備手法の有効性  〇   
 移転物件を最小限に抑えた事業計画とする。

⑥環境負荷等への配慮  〇   
 大規模な自然環境の改変ではないため、自然環境に対し想定される負荷は少ない。

⑦事業計画の熟度  〇   
 狭隘部の解消に対する地域住民の期待は大きく、道路改良に対する要望が強い。

**総合評価** [貢献度ランク:a]

**(4) 事業位置図等**

凡例  
 事業評価箇所 —  
 事業完了箇所 —

## 2. 添付資料シート

